

# 太平洋川 河川改修事業 説明会



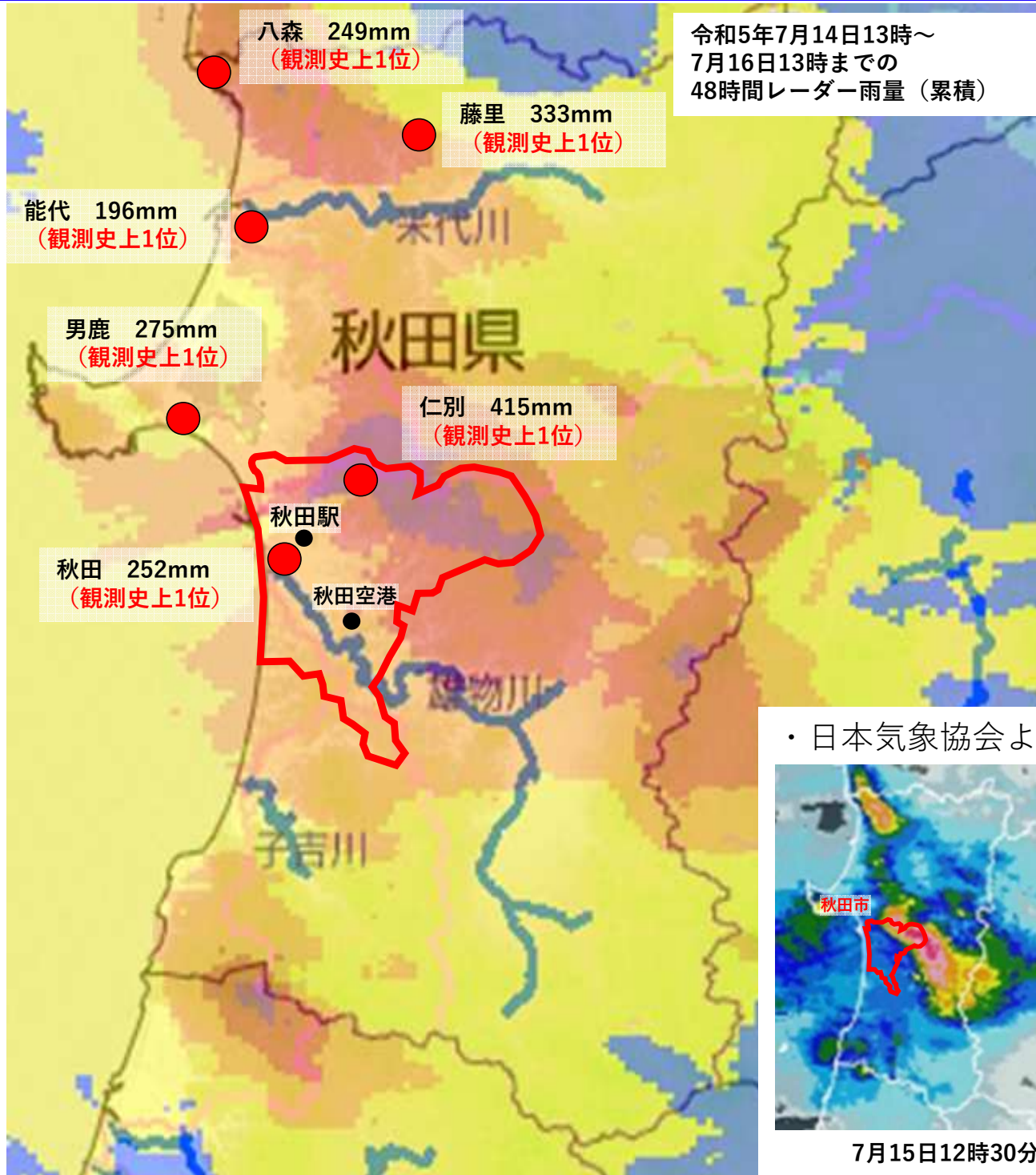
秋田県

# 説明内容

1. 豪雨災害の概要
2. 整備方針
3. 今後のスケジュール
4. 県からのお願い

# 1. 豪雨災害の概要

# 令和5年7月豪雨の概要

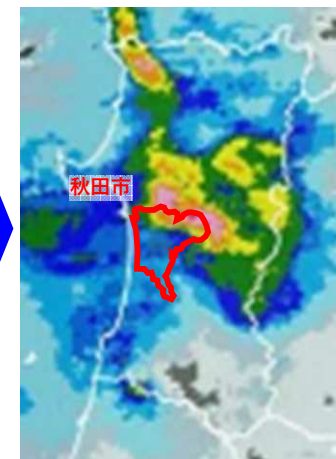


- 前線の影響により、秋田県を中心に記録的な大雨となり、多いところで300mm/24h、400mm/48hを超過し、多くの雨量観測所で観測史上1位を記録
- 7月の平年値を上回る降水量を記録。
- 強い雨が長期間降り続いたことが特徴

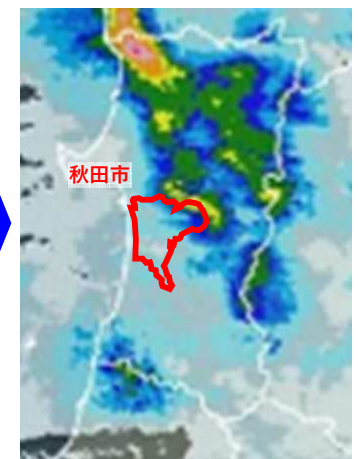
・日本気象協会より（雨雲レーダー）



7月15日12時30分



7月15日14時30分

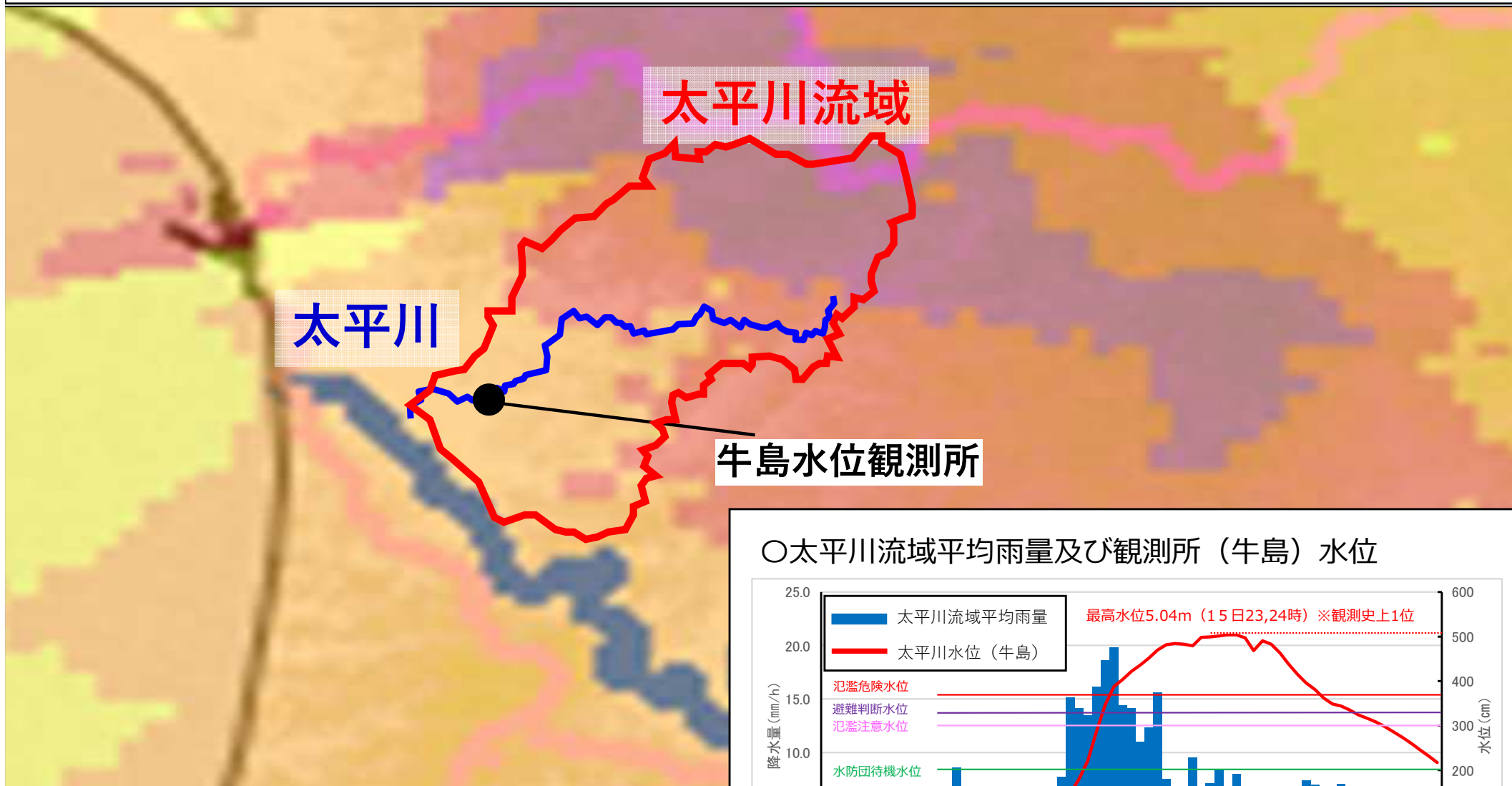


7月15日16時30分

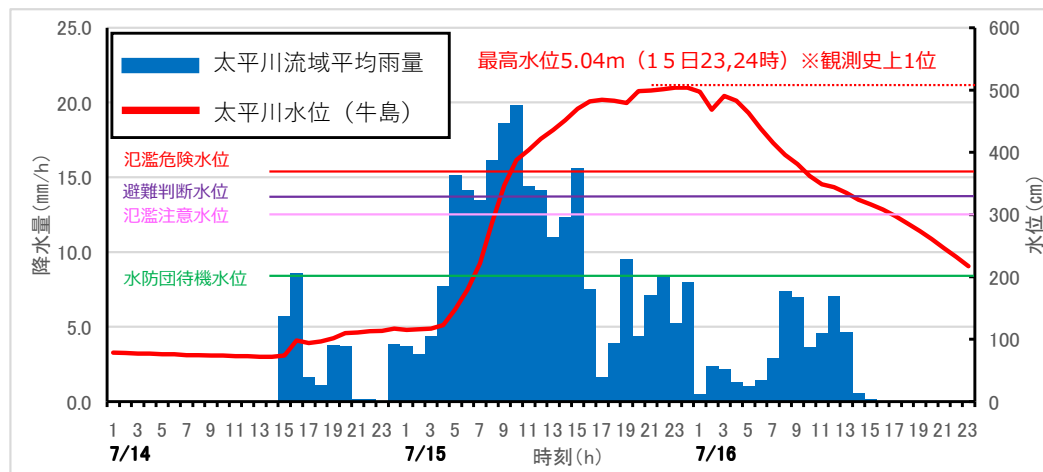


# 太平川の水位と降雨状況

○ 牛島水位観測所では氾濫危険水位3.70mを大きく上回り、最高水位5.04mに達し、既往最高水位4.25m（H30.5）を超過した。



○ 太平川流域平均雨量及び観測所（牛島）水位

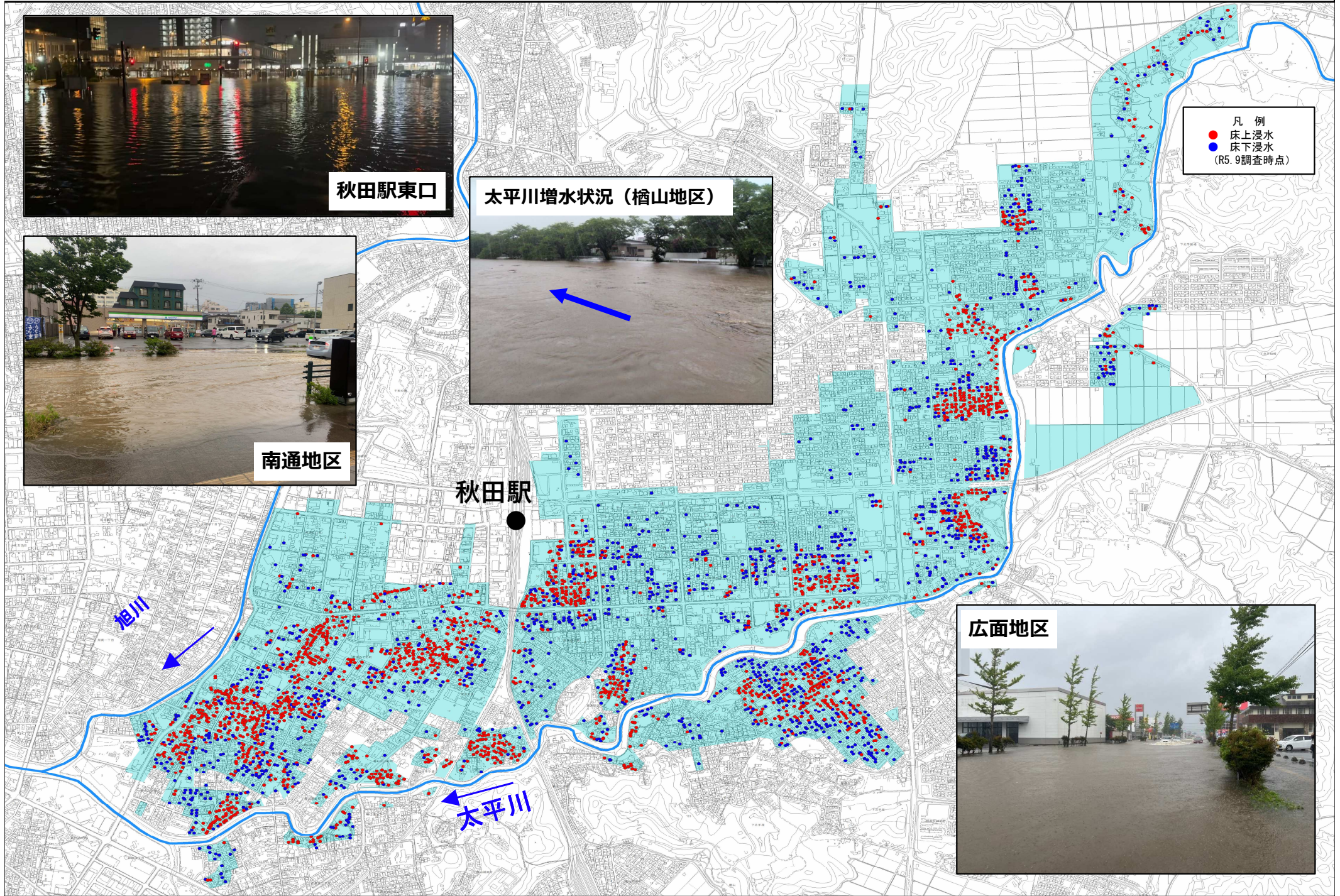


07月15日 11時40分 氾濫発生



# 秋田市街地浸水状況

○ 内外水氾濫が複合的に発生し、市街地を抱える太平川下流域では、家屋浸水4,000戸以上の浸水被害が発生





## 2. 整備方針

# 整備方針（河川激甚災害対策特別緊急事業）

## 河川激甚災害対策特別緊急事業

事業期間 令和5年度～令和10年度（6カ年）

整備延長 L=4.6 km

## 河川激甚災害対策特別緊急事業

L=4.6 km

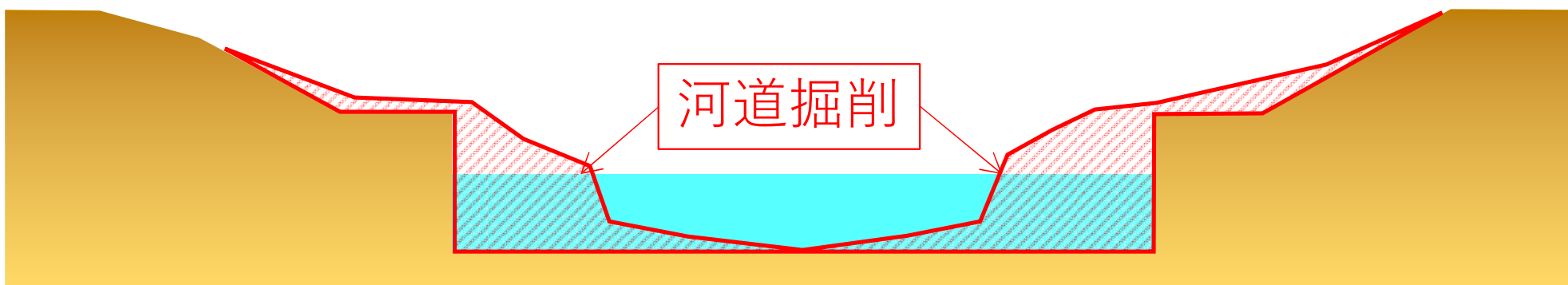
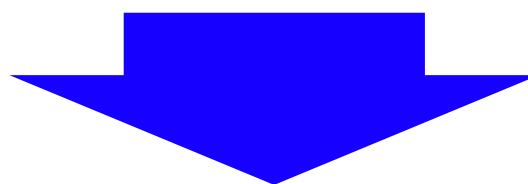
L=2.8 km  
令和14年度まで



# 整備方針（河川激甚災害対策特別緊急事業）

河道内を掘削することにより流下断面を確保

【治水安全度】  $1 / 10$ （約  $350 \text{ m}^3 / \text{s}$ ）  
⇒  **$1 / 20$ （約  $450 \text{ m}^3 / \text{s}$ ）**



### 3. 今後のスケジュール



# 事業スケジュール



		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
調査・設計							
調査・設計	護岸設計		■				
	地質調査		■				
	地形測量		■				
	工損事前調査		■				
	用地測量		■				
工事							
工事	下流		■				
	上流			■			

## 4. 県からのお願い

## 建物等の事前調査についてのお願い

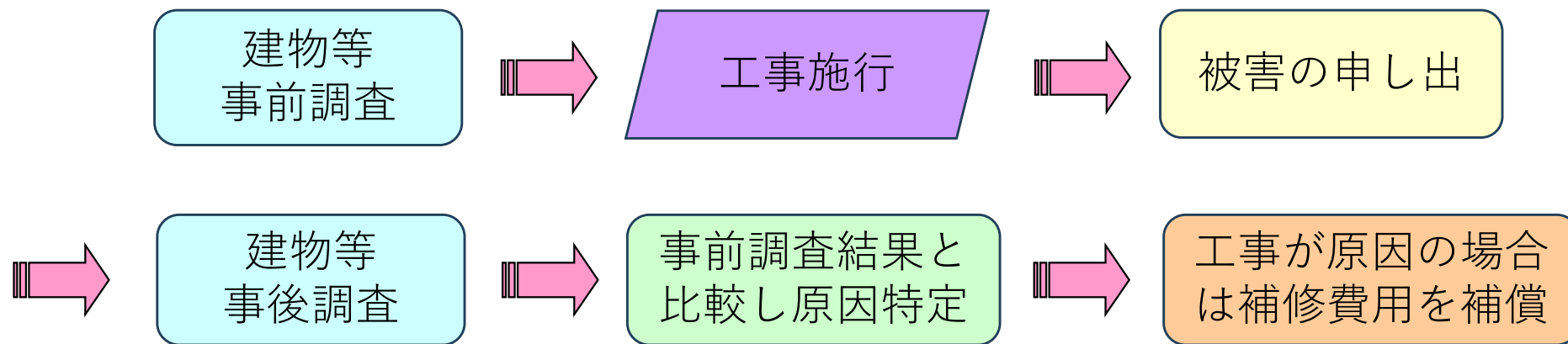
太平川の改修工事におきましては、周辺の方々に御迷惑をかけないよう細心の注意を払いながら工事を行いますが、工事の振動等によって建物等に損傷が発生した場合に迅速に対応できるよう、万一に備えて、工事に先だって周辺の建物の現況を確認する事前調査を実施させていただきたいと思っております。

### 【事前調査の目的】

工事の影響により、建物等に損傷が発生した場合は、県が補修費用を補償することになります。しかし、工事開始以前からの損傷部などは、工事が原因ではないため補償を行うことはできません。このため、工事中に建物に損傷が発生した場合、損傷の原因が特定されなければ補償することが出来ず、この原因特定にはかなりの時間を要します。

そこで、万一損傷等が発生した場合に原因特定を短時間で行い、早急に補修費用の補償を行えるよう、工事着手前に建物内外の状態を調査させていただくのが事前調査です。事前調査では、建物の壁面や天井等のひび割れ、床や柱の傾き、その他の損傷等の有無を調査します。

## 【調査・補償の流れ】



## 【事前調査時のお願い】

県が委託した調査会社の調査員が対象となる建物を訪問し、建物の内外に立ち入って建物の状況全般を調査させていただきます。

そのため、保安上の観点から、建物の所有者または管理者の方に立ち会っていただく必要がありますので、御理解と御協力をお願い致します。

※調査は下流側から行っていく予定です。

調査の対象となる皆様には、調査の時期等が決まりしだい御連絡致します。